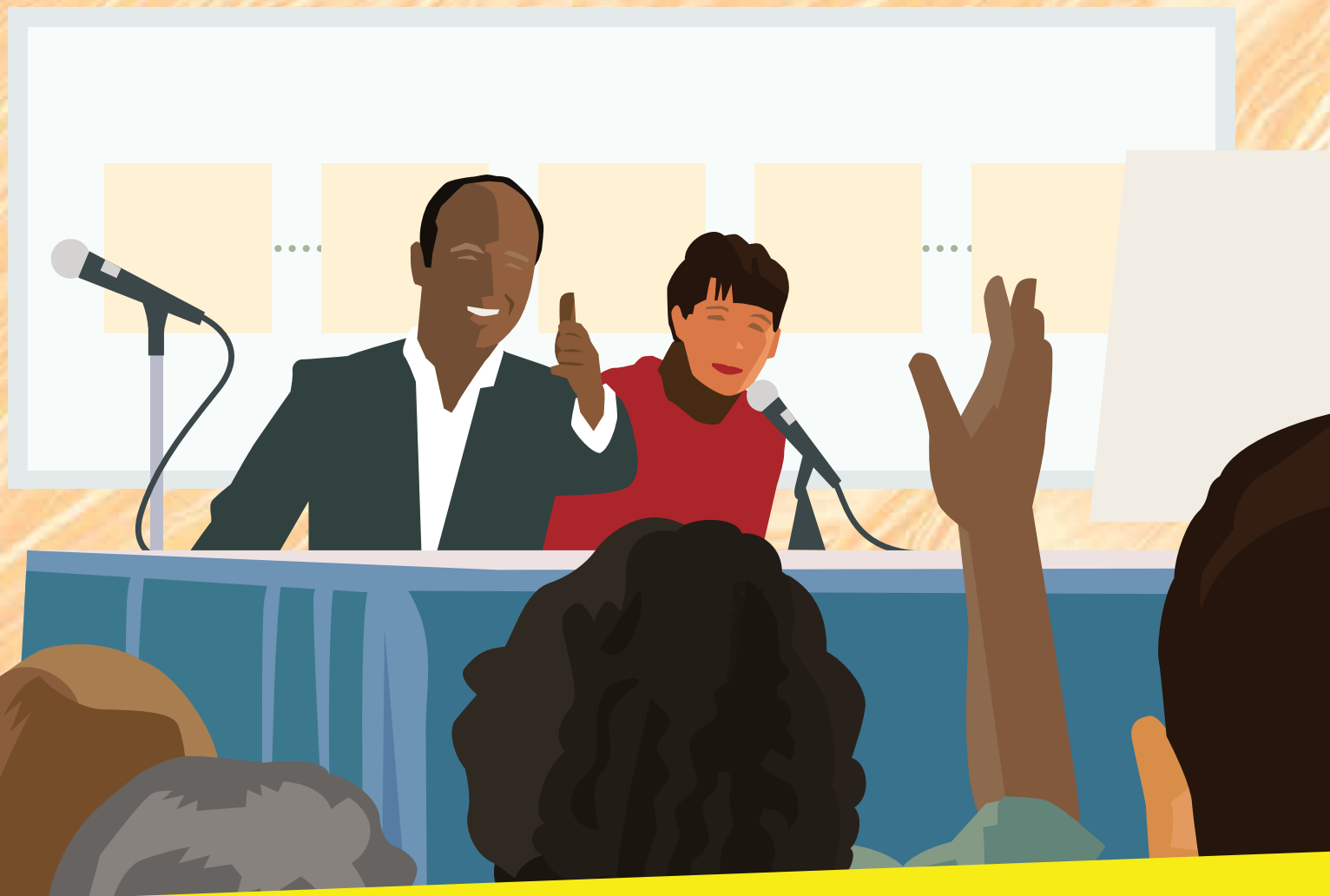


次の停車駅: プロジェクトを市民とともに計画

環境再調査

ファクトシート (概況報告書)



概念から現実へ: 交通プロジェクトの建設前の計画の方法

新たな交通プロジェクトの計画と建設は複雑です。長い時間がかかり、挫折感を抱かせる感があるかもしれませんが、このプロセスは重要です。このファクトシートでは、計画プロセスの概要、そしてプロジェクトの形成の各段階で市民がどのように貢献できるかについてご説明します。



Metro®

プロジェクトの建設前に行うべきこと

新たな交通プロジェクトの建設が行われる前に、政策立案者、市民団体の指導者、および/またはメディアがしばしば、それが何であるのかについて話し合います。ですが、プロジェクトの進行の前にある程度の調査を完了する必要があります。

それらの調査は、州および国の要件を満たすこと、プロジェクトの形成において関連する問題がすべて検討されるようにすること、さらに地域社会の構成員に発言してもらうことを意図しています。

地域および州の資金によるプロジェクトは、計画プロセスはカリフォルニア環境質法 (CEQA) により支配されます。国の資金を求めるプロジェクトは、国家環境政策法 (NEPA) に従う必要があります。両法律 (CEQA および NEPA) は、提案されたプロジェクトの形成に役立てるために、市民の参加を含め、必要な調査の種類と範囲を規定しています。

既存のハイウェイや鉄道線路の変更のようなより小規模のプロジェクトでは、必要な調査が一つである場合があります。新たなハイウェイや鉄道線路のようなプロジェクトでは一連の調査が必要とされ、それは「環境文書」と呼ばれる文書にまとめられます。これらのより複雑なプロジェクトのための調査では、プロジェクトに対するさまざまな選択肢または「代替案」、そして潜在的な恩恵や影響の分析が行われます。

分析するべき問題には、交通、大気の水質、騒音、振動、歴史的建造物、隣接する不動産、もしくは自然環境および構築環境に関連するその他の項目に対するプロジェクトの影響が含まれます。その他の分析では、技術上の問題、資本コストおよび運営コスト、駅の設計等を評価する場合があります。

CEQAの指針に従ったプロジェクトの場合、Metroは通常、「主導機関」として機能し、この機関が今後所有し運営するバスおよび鉄道プロジェクトの環境分析を実施します。場合によっては、Metroは他の機関が所有者/運営者であるようなプロジェクトの環境分析を行うこともあります。この状況は、カリフォルニア州運輸局 (Caltrans) が所有者兼運営者であるハイウェイプロジェクトや、Amtrak、Metrolink、または貨物鉄道に代わっての鉄道プロジェクトの場合に起こり得ます。

Metroが作業を主導し、完全な環境文書が必要とされる場合は、MetroはCEQAに従って環境影響声明 (EIR) を完成することを義務付けられます。国の資金を求めるプロジェクトの場合は、NEPAに従って、適切な連邦政府関連機関により環境影響声明 (EIS) が完成されます。

連邦政府関連機関は、以下のように提案されたプロジェクトの範囲によって決定されます。

- > バスおよび鉄道のプロジェクトについては連邦公共交通局
- > ハイウェイプロジェクトについては連邦道路管理局 (FHWA)
- > 鉄道プロジェクト (Amtrak、Metrolink、貨物鉄道) については連邦鉄道管理局 (FRA)

完全な環境検討プロセスには多くのステップが必要とされます。初期の段階では、「プロジェクトの代替案」として知られる多くの選択肢が、市民による検討とフィードバックのために提示されます。プロセスのその後の各ステップでは、技術的分析および市民のフィードバックに基づいて代替案の範囲が狭められます。評価の進行につれ、残りの代替案についてのより詳細な調査が完了します。この作業の全課程を通じて、市民には発言の機会があります。

プロセスのの主な節目の概要

第1段階: スコーピング

EIR/EISの開発は、常に準備通知(CEQA(カリフォルニア環境質法)準拠)、および計画通知(NEPA(国家環境政策法)準拠)の発行に始まり、この発行により、最低30日間の「スコーピング期間」が正式に開始されます。この期間に、プロジェクトの計画者は新たなプロジェクトにおいて対処する予定の既存の問題点と、考慮の対象となる代替案を特定します。これらの代替案には、プロジェクトの建設をまったく行わない可能性(建設なし)、提案されたプロジェクトの建設を行わない低コストのより緩い改善の実施、および新たなプロジェクトの建設に加えての異なるルート、技術、および/またはプロジェクトの運営方法(例:他の車との道路の共有、持ち上げ可能な専用レーンの使用、地下鉄/トンネル内)などのプロジェクト関連の変化要素の評価が含まれます。この初期の段階において、プロジェクトの代替案の評価に使用する基準が特定されます。

Metroは「スコーピング ミーティング」を少なくとも1度開催し、そこにおいて市民はプロジェクトの形成に参加する機会があります。また、Metroは市民がコメントをシェアし、質問し、情報を得るための他の方法(eメール、オンラインツール、ソーシャルメディア等)を提供します

環境監査プロセスのこの段階において、市民は最も幅広い影響力を持ちます。スコーピングの際、Metroは以下の事柄について市民のフィードバックを求めます。

- > 考慮されている代替案についてどう考えるか
- > 代替案をどのように強化または修正できるか
- > 評価すべき他の代替案
- > プロジェクト計画に関する問題点および懸念事項
- > 調査の一部として回答すべき質問

スコーピング期間が終了した時点で、計画者は、プロセスのこの段階で受け取ったコメントおよび指摘された問題点を詳細に記述した報告書を作成します。この報告書により環境分析の方法が形成され、完了すべきさまざまな調査、およびプロセスの次の段階の大筋が決まります。

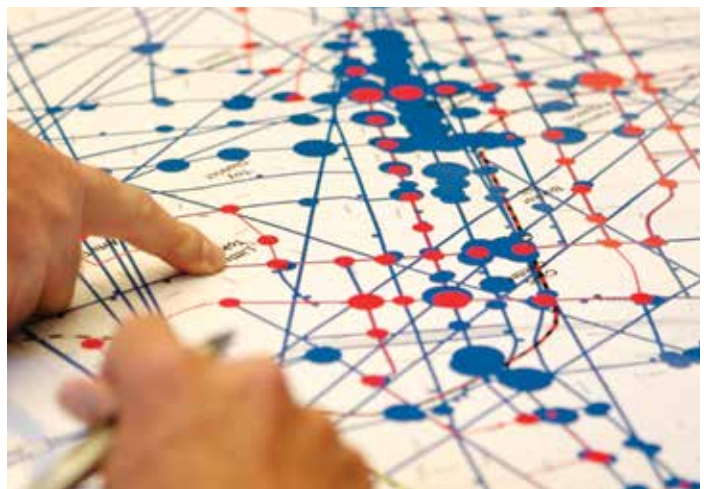


第2段階: さまざまな調査の準備

環境対策プロセスの一部であるさまざまな調査が完了する間、Metroの計画者は自分たちだけで作業をするわけではありません。計画者はプロジェクトの所在地となる各市、およびその他の公的機関との協力のもとでデータや市民の意見を手し、プロジェクトの各代替案を十分に調査します。公的機関にはロサンゼルス郡、Caltrans(カリフォルニア州運輸局)、南カリフォルニア政府協会、大気管理局、公益事業会社(ガス、水道、下水道、電気、および通信の事業を含む)、水質規制委員会、国の機関、学区等が含まれます。また、計画者は主な団体、ビジネス、または経済団体、プロジェクトの付近の居住者を始めとするプロジェクトに関係のある主な利害関係者に相談します。

Metroは環境文書の草稿が作成される間、市民に通知を続けます。計画者は、調査の主な節目、または共有すべき新たな情報が浮上した際に、調査の進展についての更新情報を提供します。この情報には利用者数、コスト、移動時間、検討中の建設方法などの、調査対象となっている代替案の評価成績の比較が含まれる場合があります。

情報はミーティング、eメール、ニュースレター、市議会やコミュニティグループへ向けてのプレゼンテーションを始めとするさまざまな形で共有される場合があります。この情報共有の際には、市民はいつでも、提示された情報について質問や発言を行うことを奨励されます。



第3段階: 環境文書草稿の検討と公聴会

必要な調査がすべて完了し、環境文書の草稿が市民による検討に向けて準備されると、Metroは使用可能通知(CEQA(カリフォルニア環境質法) 準拠)、および完了通知(NEPA(国家環境政策法) 準拠)を発行します。この発行により最低45日間の市民による検討期間が開始されます。環境影響報告書(EIR)草稿および環境影響評価報告書(EIS)草稿にはプロジェクトが完全に記述され、以下を含めた環境への影響および恩恵のすべてについての発見事項と、その他の技術的調査による発見事項が要約されます。

- > プロジェクトの代替案の分析結果
- > スコーピングの際に特定された基準に対する各代替案の評価成績
- > プロジェクトの目的と必要性に対する各代替案の対処状況、
- > プロジェクトの全代替案のコストおよび恩恵の分析
- > 各代替案の財政的な実現可能性
- > 各代替案の影響、および必要に応じた影響の回避または緩和の戦略

スコーピングの場合と同様、プロセスのこの段階には別の正式な「検討期間」があり、この間に市民は環境文書の草稿についての発言を奨励されます。この段階の間に、Metroは公聴会を少なくとも1度開催し、そこにおいて市民は発見事項の内容、およびプロジェクトの全般的な計画について発言し、明確化のための質問をすることができます。

環境文書は長く、非常に技術的で、一般に多くの付属文書を含んでいます。ですが、常にエグゼクティブ・サマリー(事業計画概要)が作成され、調査の主な発見事項がこの中に要約されます。

さらに、Metroの計画者は公聴会において、またプロジェクトのウェブサイト、印刷された資料、ソーシャルメディアなどのプロジェクトの他の情報経路を通じて環境文書の概要を提供します。

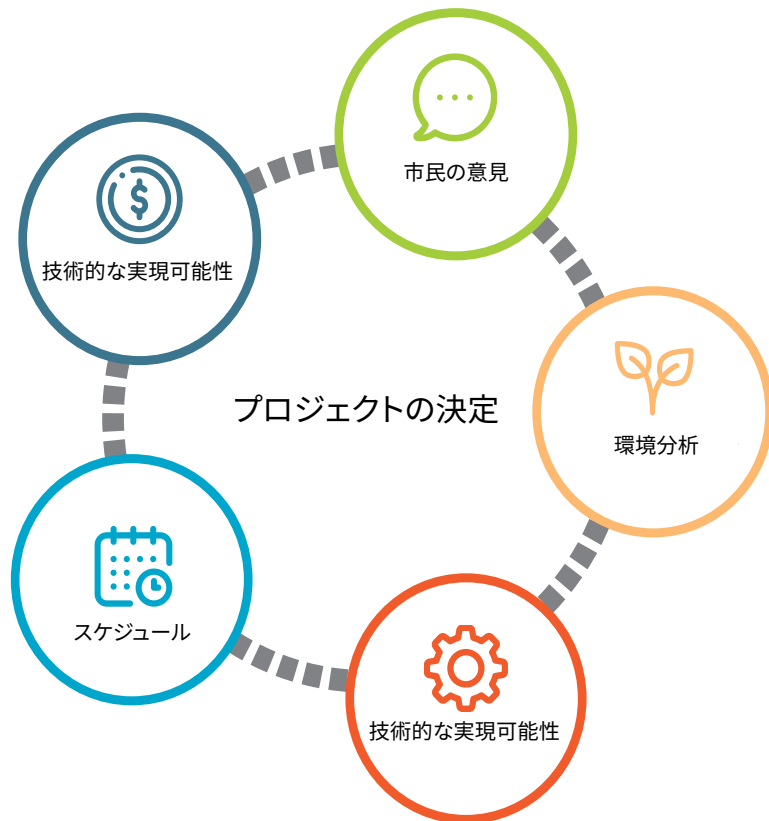
検討期間中には市民のフィードバックが奨励され、これは公聴会において口頭で、または書面により行うことができます。コメントの送付先情報は、文書が市民による検討のために公開される際に提供されます。この正式な検討期間中に寄せられたコメントや質問に対する回答は、プロセスのこの段階の間には行われないことを心に留めておくことが大切です。コメントや質問に対する回答は、プロセスの後の段階で行われます(第5段階をご覧ください)。

第4段階: プロジェクトの代替案の選定

Metroの計画者は、最終的な環境の検討へ向けて推奨するプロジェクトを特定します。この推奨は、プロジェクトの目的と必要性、スコーピングの際に確立された基準、分析、および寄せられたコメントを含む多くの要因に基づいて行われます。Metroが主導機関である場合は、公開ミーティングにおいて推奨内容がMetroの取締役会に提示され、そこでは市民が出席してプロジェクトについての意見やコメントをシェアすることを奨励されます。

プロジェクトがさらなる検討のために、Metroまたは最終的な意思決定機関によって選定されると、そのプロジェクトは地域で好まれる代替案(LPA)として認識されます。

プロジェクトの推奨を促す要因



第5段階: 環境文書の最終検討

LPAが特定されると、選択された代替案に伴う特筆すべき問題点への対処に焦点を当てた調査により、EIR/EISがさらに詳細化されます。この時に、EIR/EISの草稿の市民による検討期間の間に寄せられたコメントに対する書面による回答が作成されます。これらの調査および回答が終了すると、それらは最終的な30日間の市民による検討のために発行されるEIR/EISの最終版に盛り込まれます。この文書には、「緩和の監視・報告計画」(MMRP)が含まれます。MMRPには、環境文書の中で特定されたプロジェクトの影響に対処するために、主導機関が実施を約束している対策が文書化されます。

Metroの取締役会は最終版EIRの認定を要求され、この時点で、EIRの完成および認定を市民に知らせるための完了通知が発行されます。完成した最終版EISによって国からの融資をも求めるプロジェクトについては、指定された連邦政府関連機関がこの文書に署名し、**決定記録(ROD)**を発行します。RODの発行は、国の環境検討プロセスの正常な完了を意味します。

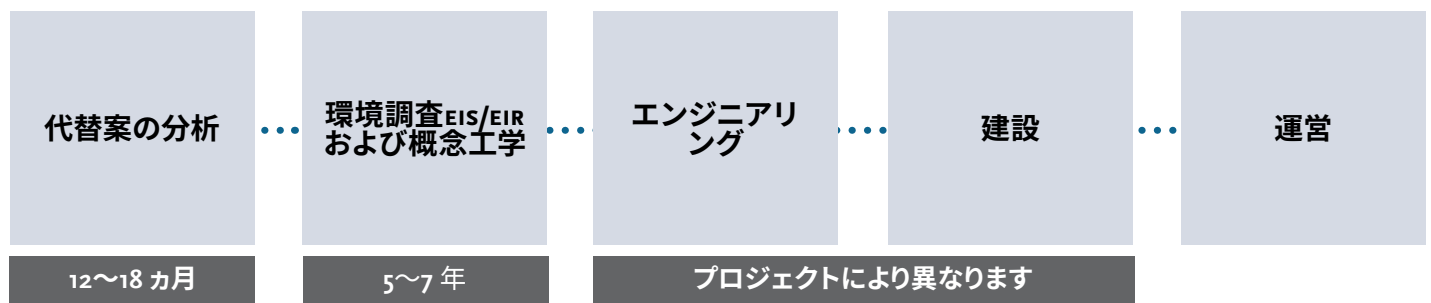
今やプロジェクトは承認されました - 次の段階は？

広範かつ詳細な調査の後であっても、計画されたプロジェクトについて建設を始めることができる前に、以下を含めた多くの事柄を完了する必要があります。

- > 必要に応じた、プロジェクトのための州および/または国の資金の確保
- > プロジェクトの最終設計の完了
- > 入札の検討、およびプロジェクトの建設を行う請負業者の選定
- > 必要な民間の不動産、および永久的または一時的な地役権の取得
- > プロジェクトの建設および運営の間にサービスが中断しないための、公益事業(水道、電気、下水道、通信等)の移設
- > 建設の進め方についての、関係する各市との合意書の作成
- > プロジェクトに平面交差点が含まれる場合は、カリフォルニア州公益事業委員会(CPUC)を始めとする他の規制機関による許可の確保
- > プロジェクトの次の段階、および建設と運営の間の安全確保についての市民の啓蒙

世界で最高水準の最も革新的な機関の例に習い、Metroはプロジェクトをより良く、より速く、より手頃なコストで実現するための新たな方法を模索しています。官民協力(P₃)は一部のプロジェクトにとっての可能な戦略です。P₃は、公共のサービス、プロジェクト、または施設を提供するための公的機関と民間提携者との間の協力関係です。これにより実績の最大化、コストの最小化、リスクの緩和、そしてタイムラインの短縮を行うことができます。市民および民間提携者はそれぞれ重要な役割を果たし、各セクターのスキルおよび資産が最適化され、潜在的な落とし穴と利益が共有されます。場合によっては、プロジェクトの環境検討の際にP₃の提携者が含まれることがあります。

プロジェクトの開発プロセス



環境検討についての詳細情報は、
metro.net/enviroreview をご覧ください。

情報を知り続け、参加し続ける

プロジェクトの開発プロセス全体、および建設の間を通じて、最新の情報を知り、参加し、フィードバックを行う多くの方法があります。そのいくつかを以下に挙げます。

- > プロジェクトのメーリングリストに載り、最新情報とニュースを受け取る
- > プロジェクトのウェブサイト情報を監視する
- > プロジェクトのソーシャルメディア (Facebook、Twitter、Instagram等) をフォローする
- > プロジェクト関連のミーティングに出席する
- > プロジェクトの作業をしているMetroのスタッフに、電話、手紙、またはeメールで問い合わせる